

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：課長 中島 威夫

事業名 一般国道116号 巻 ^{まき} バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北陸地方整備局
起終点 自：新潟県西蒲原郡巻 ^{まき} 町下和納 ^{にしかんばらくんまきまちしもわのう} 至：新潟県西蒲原郡巻 ^{まき} 町中郷屋 ^{にしかんばらくんまきまちなかごうや}	延長 4.9 km	
事業概要 一般国道116号は、新潟県柏崎 ^{かしわざき} 市から新潟市 ^{にいがた} に至る延長約80kmの主要幹線道路であり、北陸自動車道を補完し、新潟市と沿線市町村および市町村相互の交流を支える重要な路線である。巻 ^{まき} バイパスは、延長4.9kmの4車線道路である。		
H元年度事業化 S63年度都市計画決定 H4年度用地着手 H7年度工事着手		
全体事業費 約219億円 事業進捗率 73% 供用済延長 0.0km		
計画交通量 35,800台/日		
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 3.7 (残事業) 15.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 59億円/249億円 事業費：37/227億円 維持管理費：22/22億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 921/921億円 走行時間短縮便益：798/798億円 走行費用減少便益：91/91億円 交通事故減少便益：32/32億円
基準年 平成15年		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道の混雑時旅行速度の改善が期待される） ・安全な生活環境の確保（現道の死傷事故率が高い区間の安全性の向上が期待される） 他7項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 巻 ^{まき} バイパスは、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、巻 ^{まき} 町をはじめとする関係2市7町3村の首長で構成される国道116号改良整備促進期成同盟会より早期整備の要望（平成15年7月14日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 事業計画路線周辺での土地利用状況の変化。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに用地買収・工事を推進している。L=4.9kmにおける改良・舗装工事が残事業である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成14年度までに用地買収の約7割を終了しており、引き続き、用地買収・工事を推進し、平成16年度の部分供用を目指している。残る区間についても交通状況を勘案しつつ、引き続き完成供用を目指す。		
施設の構造や工法の変更等 新技術、プレキャスト製品の積極的活用、再生材の活用等のコスト縮減を考慮した計画となっており、今後一層の建設コスト縮減に努める。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		
<p style="text-align: center;">巻^{まき}バイパス L=4.9km</p> <p>凡例： ■ 供用中 ▨ 再評価箇所</p> <p>（自）新潟県西蒲原郡巻^{まき}町下和納 （至）新潟県西蒲原郡巻^{まき}町中郷屋</p> <p>沿線：岩室村、湯頭、赤館、巻^{まき}町、巻^{まき}甲部、船場、中郷屋</p> <p>交通：T99=24,600台/日 K99=1.80 (至 柏崎市) T99=22,400台/日 K99=1.77 (至 新潟市)</p> <p>施設：JR越後線、460 B.P.、今井巻線</p>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。